

令和4年度第1回長久手市指定管理者選定委員会 議事要旨

令和4年9月29日(木)

午後5時～午後9時30分

市役所会議室棟2階 会議室D・E・F

- 委員の全員の出席により会議が成立していることの確認・挨拶
- 委員の互選による委員長及び委員長職務代理者の決定
- 委員会が非公開であることについての確認
- 選定の流れについて説明(行政課)

●長久手市体育施設等の指定管理

指定管理期間：令和5年4月1日から令和10年3月31日まで(5年)

(申請者A 入室 抱負・アピール)

【申請者質疑】

委員：指定管理の中心施設は杣ヶ池体育館だが、隣接した杣ヶ池公園の樹木はどのように管理するのか。例えば樹木を伐採する判断などは自社で行うのか。

申請者：剪定・伐採は市内業者に委託する。伐採の判断は自社の管理スタッフや現場スタッフが見極めるが、大きな樹木の伐採や剪定は、市と事前協議の上実施する。

委員：自主事業計画案について、各教室は申請者が主催する予定か、それとも委託する予定か。

申請者：自社主催で行う。一部自社スタッフだけで行えない教室は外部講師を招く。

委員：地域の関係団体との連携について、杣ヶ池公園内の南小校区共生ステーションとの連携は検討しているか。

申請者：指定管理する公園の一部に施設があるので、仕様書で分けることのできないグレーな部分があると思う。積極的に自社で対応したい。

また、地域の団体や関係機関との緊密な連携や協力が、指定管理者に求められていると考えているため、相互に連携したい。

委員：スポーツ教室は自主事業で実施するということだが、人件費の部分に記載されている職員はどのような人を雇用するのか。

申請者：自社には体育教師の資格や、体育施設運営士、体育施設管理士の資格を持

った正社員がおり、会社全体でスポーツに関わる資格の取得を積極的に行っている。基本的にスポーツに携わったことがあり、なおかつ公共施設の管理運営に携わったことがあるものを統括責任者として配置する。その他の職員は地元採用に重点を置いて、人員配置する。

委員：5名分の人件費を計上しているが、業務の内容によって、高齢者のみならず身体障がい者などを雇用する考えはあるか。

申請者：障がい者を採用する前提の積算ではない。会社全体で見れば、会社の規模によって障がい者の雇用人数が決まっており、雇用もしている。実際に可能な業務がある場合は、本人に無理のない業務内容を相談の上、積極的に雇用したい。

委員：特に力を入れたい事業はあるか。

申請者：一般開放の実施に力をいれたい。長久手市体育施設設置及び管理に関する条例では、3時間1単位として施設の貸出しをしている。アリーナは利用率がかなり高いが、誰も利用しない時間もある。市からの承認が必要だが、独自に個人利用区分を設けて、1人200円や300円の使用料で、空いた時間に施設を使えないか考えている。検討している個人利用の場合、当日に施設の申込みをして利用してもらおう。施設内で人の交流が図れるのではないかと考えている。

委員：スポーツをする人は何も言わなくても体育施設を利用する。一方で平等な利用という観点で考えれば、スポーツになじみのない人やあまりスポーツをしない人も対象とすべきと考えるが、検討していることはあるか。

申請者：頻繁に公共施設を利用しない人の利用を考えていきたい。

自社では年1回市民に対し無料イベントを実施している。他自治体の指定管理施設でも年1回程度の頻度で公園内にキッチンカーを配置し、マルシェを実施している実績がある。杖ヶ池公園は都市公園なので、イベントを実施することは難しいが、市との協議次第で行いたい。

公園でのイベントをきっかけに、体育館をよく知ってもらい、体育館の利用につなげていきたい。

委員長：令和5年度の受託事業一覧表がある。令和6年度以降は受託事業から自主事業に変更になるが、参加料が倍の金額になっており、市民から反発があると思う。この反発をどのように吸収し、参加料を払う人に対してどのように説明するのか。

申請者：収支計算上この価格設定になっているが、令和6年度以降も例えば1期8回で4,000円という金額であれば1回あたり500円換算になるため、大き

な負担ではなく、きちんとした講師のもとで行う事業に参加する対価として、1回500円は安いと考える。

他自治体の指定管理施設では、自治体と相談しながら利用料金を精査し、公共施設ではあるが、一定の対価として適正な料金を支払うように変更している。

ただ、募集後に料金が高いという問合せや、申込が極端に少なくなることがあれば、再度変更する可能性もある。

事業単体で赤字が膨むと、指定管理料を増額することになる。経営状態を見ながら、指定管理料の上限から4,100万円程度の削減となるよう提案した。

受託事業から引き継ぐ自主事業は、1回の時間を長くしたり、講師の人数を増やしたり、サービス面で改善し、金額は倍になったが、内容はよくなったと判断してもらえるようにしたい。

委員：他の自治体の指定管理施設でも受託事業を自主事業に変え、参加料を増額した実績があると思うが、その際に市民から「民間に変わって高くなった」というような声はあったのか。

申請者：実際にあったし、今回もあると思っている。正式に指定管理者になった際には利用者の声を聞いていきたい。

(申請者退席・担当課質疑)

委員長：改めて生涯学習課に質問があったらどうぞ。

委員：なし

(採点)

(ハマダスポーツ企画株式会社 入室 抱負・アピール)

【申請者質疑】

委員：人件費として業務員15名準備と書いてあるが、具体的にどのような業務を想定しているのか。

申請者：例えばアリーナでの備品の使い方を案内するような施設の受付業務やその他設備の管理を検討している。繁忙期を考慮し、シフトを組んで対応する。

委員：地元企業ならではのPRを教えてほしい。

申請者：名古屋市守山区や、尾張旭市などで民間のスポーツクラブを経営しており、本社も名古屋市名東区にあるということで、点ではなく面で仕事をしている強み

がある。例えば、杵ヶ池体育館で急な事故等が発生した場合、近隣の施設から応援に駆けつけることができる。本社も杵ヶ池体育館まで大体15分の距離にあるので、不測の事態が発生したときに、応急対応がスムーズにできる。

委員：申請者は他自治体の体育施設の指定管理は十分な実績があると思うが、公園の樹木管理についてはどのように考えているか。

また杵ヶ池体育館のトレーニング室の改装についてあげているが、スポーツ施設の管理業務の中で照明器具のLED化なども実施すると考えてよいか。

申請者：都市公園とスポーツ施設は一元管理を考えている。公園管理と言っても、草刈や清掃といった日常管理から、高木剪定や公園の整備、補修など業務は様々である。今回の収支予算では、全ての管理項目を考慮した上で体育施設と都市公園を一元化し予算計上している。

また、公園の管理は自社の内部職員による屋外管理チームを立ち上げて管理を行う。内部職員で管理することによって、コストの圧縮だけでなく、日々の管理状況の見える化や、公園利用者の声に即時対応できる強みがある。

また、トレーニング機器導入については、施設改修費で充当し、トレーニング機器のリース料などは、担当課と協議の上、優先順位を決めた上で対応したいと考えている。

委員：樹木の剪定はどのようにするつもりか。また、苦情の把握と対応について、初期回答を48時間以内に行うと書かれている。これは例えば施設の休館日や、市との協議が必要な回答があることを考慮して48時間としているのか。

申請者：剪定については、切って終わりではなく、この先どのような形で木が成長していくのかということを考えながら剪定する。

苦情対応は、原則2日以内に対応するが、どうしても担当課と打ち合わせが必要な場合は、苦情を受け取ったことを48時間以内に発信する。

委員：自主事業の参加料はどれくらいになるのか。また、受託事業から自主事業に切り替わるタイミングで値上げすることもあり得るのか。

申請者：これからの社会情勢によっても変わるが、従来の教室は1回500円、1クール10回という形で実施している。シーズンの間が空いている時も、利用者の声に合わせて、スポット的に教室を開催したい。

市から引き続き受託する事業は現行の参加料で対応し、自主事業で行う部分は1回500円、1クール5,000円の料金体系で検討している。

委員：地域連携について、地域組織や民間企業体とどのような形で連携するのか。

申請者：企画提供のような有償のものや、自治会の夏祭りイベントや、地元のクリーンアップキャンペーンへの無償提供の実績があり、同様の実施を検討する。

委員長：スポーツをしたい人だけでなく、スポーツをされない方へのアプローチは考えているのか。

申請者：都市公園を利用したウォーキング教室、ドッグトレーニング教室などプチイベントを開催して、公園の位置付けを地域に示していく。

その季節に見合った館内装飾にも力をいれており、都市公園内で装飾を行ったり、景観を利用して、小川の部分で夏祭りなどのイベントを実施したい。

委員：都市公園の整備に係る予算はどこから運用する予定なのか。

申請者：杵ヶ池公園の管理費に計上している。

(申請者退出・担当課質疑)

委員：年間280万円で樹木剪定はできるのか。

担当課：参考として、令和4年度は都市公園の除草、剪定は長久手市シルバー人材センターに業務委託をしている。年間の予算は約1,000万円程度である。

委員長：提案ではトレーニングルームの機器のリプレイスが記載されていたが、そもそも今回機器のリプレイスは認められているのか。

担当課：認めたいと考えている。導入して30年近く経っている機器が多く、担当課としても新調を考えていたが、予算がなく実施できなかった。

委員長：提案では新しい機器は購入ではなくリースで対応するということであったが、購入した時の減価償却と比較してリースは割高になると理解してよいか。

委員：そこまで金額は変わらないと思う。ただ、今回の指定期間は5年間なので、指定管理期間が終わった後もその機器をトレーニングルームに置いていってもらえるのかという、別の問題が発生すると思う。

委員長：単に機器を置いていくということだけでなく、指定管理期間終了後に、指定管理者から買い取りを依頼される可能性もあると思うので、担当課は指定管理者ときちんと協議をしてほしい。

(採点)

(申請者 B 入室 抱負・アピール)

(申請者質疑)

委員: 共同事業体での指定管理実績及び共同事業体での申請に至った理由を知りたい。

申請者: この共同事業体では、初めての申請になる。指定管理施設のある地元の企業とスポーツ関係の専門企業が手を結び、応募している。

委員: 運営体制について教えてほしい。

申請者: 責任者は代表団体が担当し、体育館内やテニスコート、トレーニング指導は常駐する社員が対応する。維持管理は構成団体が担当し、屋外の施設の監視なども行う。

委員: スポーツ教室等の企画について、現在市で行う教室と同じ教室については、現在の金額を踏襲するのか、2、3年後に値上げを検討しているのか。

申請者: 基本的に金額は踏襲する。値上げは利用者アンケートなどを行った上で、値上げできる環境が整った場合は検討する。

委員: 構成団体は清掃業務を行っているということだが、今後は野球場も施設管理していく必要があるが、どういう内訳で施設管理を行う予定か。

申請者: 提案書の収支内訳書上、施設維持管理業務委託費に清掃や保守点検、修繕費を計上している。構成団体は清掃委託業務の実績があり、施設の状態を細かに把握してる。代表団体は自社の施設や公共施設の管理運営を行っているため、修繕を安くできるノウハウがあり、構成団体から提供された情報をもとに修繕等を検討したい。

委員: 収支内訳書上、人件費と委託料が高くなっている。施設管理業務の委託料は主にどのような委託業務を検討しているのか。

申請者: 設備等の点検、清掃、屋外施設の植栽の管理等を計上している。構成団体に委託する部分が大半である。

委員: 現状杵ヶ池体育館のトレーニングルームでは、講習会を受講することでトレーニングルームを使用できるようになる。提案書には、トレーニング指導者は責任者・副責任者が兼任すると記載があるが、他の体育施設でトレーニング指導者と責任者・副責任者が兼任している実績はあるのか。

申請者: 新規の方には今までと同様、講習を受けてもらうが、今までとは違い毎日受付ができるようになる。

突発的に責任者が対応しなければならない案件があった際は、指導を一時中断することもあるが、他の施設ではそのようなケースはあまり発生していない。

委員: 自主事業の収入を多く見込んでいるが、たくさん利用してもらうため、特

に力をいれたいと考えている部分を知りたい。

申請者：キッズランニングや健康体操の教室に力をいれていきたい。両教室とも他の自治体で実績があり、人気がある。ホームページやチラシで地道に情報発信をしていきたい。

委員長：指定管理の対象となる施設は市の施設であり、公共性が高いものである。スポーツをしない方にも施設を使ってもらうための取組は考えているか。

申請者：市で実施される特定健診など、イベントがある際に体育施設についてアンケートをとる。その結果をもとにイベントを企画して、その内容の延長線上で施設で実施する教室に興味を持ってもらえるようにしたい。

(申請者退出・担当課質疑)

委員長：委員にお尋ねしたいが、共同事業体の構成団体に対して、業務を委託するのは可能なのか疑問に感じた。

委員：公園の緑化の関係は別の事業者へ委託するという事だと思いが、提案書に詳しく記載がない。

委員：日常清掃や除草、樹木管理等については長久手市シルバー人材センターを活用と記載されているが、シルバー人材センターだけで公園の全てを管理できるのか。

委員：本来どこに委託をするのかまで分かるのが収支内訳書である。構成団体に委託してはいけないわけではないと思う。ただ、共同事業体なので、もしかすると人件費としておくべきだったのかもしれない。

(採点)

(申請者 C 入室 抱負・アピール)

【申請者質疑】

委員：今回指定管理制度の申請をした経緯を教えてください。

申請者：3点理由がある。まず、会社として指定管理制度事業に携わった社員がおり、指定管理制度を実施する人材がそろっている点。2点目に、杖ヶ池体育館は自社から5分程度の距離にあり、問題が発生した際にすぐに駆けつけることができる点。最後に、会社として、志を広く社会に向けて発展していきたいという思いを持って活動しているので、指定管理という地域に貢献できる仕事というのは、

やはりかけがえのないものであると考える点である。

委員：配置計画について、SNS等でアピールをしていくということだが、どの職種の人が職務を行うのか。また、具体的にどのようなアピールを行うのか。

申請者：責任者や副責任者が担当する。ホームページは、利用方法を調べるために使うことが多いと思うため、パンフレットのように活用する。

SNSは、きっかけを発信することが中心となる。例えば公園で写真を撮って、公園の草花の様子などを発信し、市民が公園に行くきっかけにつながったり、スポーツ教室の実施状況を発信して、スポーツ教室に参加するきっかけにつながるような使い分けを考えている。

委員：現在の杵ヶ池体育館ではトレーニングルームを使用する際は指導員が配置されてるが、計画では指導員は設けないのか。

申請者：月25日程度、1日3時間程度、外部委託をして配置する。

委員：体育施設に冷暖房を管理してほしいという市民の意見が多い。構造上難しいという話は聞いているが、そのような市民の声にどのように対応できるかと考えるか。

申請者：冷暖房の問題は市民にとっては重要なことだが、多額な投資がかかるため、自社で負担するとはいえず、市の担当課に依頼することしかできない。環境衛生や風量測定などの調査業務もしているので、体感の工夫はできるかもしれない。

委員：営業時間の延長、ナイター期間の通年化、トレーニングマシンの更新について、現状の収支計画の中で全て実施する見込みなのか。また、機器などは指定管理が終了した際はどのようにするのか。

申請者：開館時間の延長は、実際に市民が望んでいるかを調査し、費用対効果を見て対応していくことで、売上の増加につながる。

また、トレーニングマシンの更新は、収支内訳書でリース代として計上している。マシン自体は現在20台程度設置されていると思うが、全てを更新するのではなく、特に市民が必要としているものを8台程度を更新する。5年後も自社が指定管理者となる場合は、そのまま再リースという形で10年利用し、残りのマシンも変えていくという10年の運用計画にしている。

仮に5年後選ばれなかった際に、次の指定管理者にリースを引き継ぐのか、それとも撤去するのかは現時点でこちらが決めることではない。

委員長：申請者は施設管理の実績を積み上げられている。一方で今回は施設運営が非常に重要となる。申請者の提案にどれくらいの実行可能性があるのか教えてほ

しい。

申請者：まず、指定管理施設の統括責任者の経験がある私自身が統括責任者となり施設全体を管理する計画にしている。また働くスタッフも重要となると思うので、今職員で働いている人の知識、能力を借りていきたいと考えている。それ以外にも、自社は様々な企業との付き合いがあるため、企業に声をかけたり、自社社員の力も借りながら運営をしてきたい。

委員長：連携方策に対する実績や展望を教えてください。

申請者：現時点で連携実績はないが、長久手市スポーツ協会や地域の方の話を聞き、自主事業の講師として一緒に事業ができる人がいないか話をしたり、今教室の講師をしている方には継続して教室運営をしてもらいたいと考えている。

委員：提案書にコーディネーターという言葉が使われているが、施設にはどのような人を配置する予定なのか。

申請者：例えば教室に参加したい人と教室の講師をしたい人がいれば、自主事業として教室を企画し、生徒や講師として参加してもらえるようにする。教えたい人と教わりたい人の繋がりやそれ以上のものをコーディネートできる人を育て、配置したい。

委員長：スポーツ施設といいながらも、公共施設なのでスポーツをする方だけでなく、スポーツをしない方にも利用してほしいと考えている。スポーツをしない方にとっても魅力的な施設になるように、何か考えていることはあるか。

申請者：自社で環境衛生に力をいれており、研究室で調査をしているので、例えば子ども向けに手洗いの仕方に関するイベントを行ったり、会社として地域社会へ貢献をしていきたいと考えている。

(申請者退出・担当課質疑)

委員長：冷房の話題があったが、課として計画することは予定しているのか。

担当課：アリーナについては、施設上設置するのが難しく計画に入っていない。柔剣道場、トレーニング室、シャワー室については整備予定である。

委員：設置できないと、アリーナの冷房設置について今後も要望が出てくることになると思う。できない理由を市民にお伝えする必要があると思う。

委員：夜間利用の話があったが、体育館の周りが夜になると暗い。例えば公園の中の街灯を増やす場合は施設管理費の中で実施してもらおうことになるのか。

委員長：難しいと思う。もし夜間利用を実施するのであれば、市と協議をして、市

が街灯を設置するということになると思う。

(採点・集計結果の報告・指定管理者候補者の決定)

「ハマダスポーツ企画株式会社」 81.71 点／100 点。

「申請者 A」 78.17 点／100 点。

「申請者 B」 74.78 点／100 点。

「申請者 C」 71.58 点／100 点。

指定管理者候補者として「ハマダスポーツ企画株式会社」を決定。

(解散)